

かけはし

No. 91



撮影：末國 真理

CONTENTS

- | | |
|------------------------------|---------------------------|
| ●令和8年度永年勤続表彰 2 | ●ふれあい看護体験 5 |
| ●永年勤続30年表彰を受けて 2 | ●飛翔会だより [ボウリング大会/納涼会] . 6 |
| ●オープンカンファレンスのご案内 2 | ●わくわく夏まつり 6 |
| ●脱腸と似ている？骨盤臓器脱 3 | ●家族で楽しむ車中泊の旅 7 |
| ●女性のための健康講座を開催 4 | ●地域医療連携室だより 7 |
| ●感染管理認定看護師な日々 4 | ●熊本地震の被災地にお見舞いを申し上げます・7 |
| ●透析医学会への参加 4 | ●編集後記 7 |
| ●MRIの注意事項 5 | ●診療日程表 8 |
| ●リハビリテーション実習を終えて 5 | |

日本医療機能評価機構認定病院
特定医療法人 財団竹政会



セントラル病院

〒720-0809 広島県福山市住吉町1-26
TEL.084-924-4141(代) FAX.084-924-8040
●ホームページアドレス <http://www.central-hp.or.jp/>

病院理念

私たちは、安全で良質な医療が提供できるよう
最善を尽くし、地域の人々に信頼され愛される
病院を目指します。

令和8年度 セントラル病院 永年勤続表彰者

30年表彰

渡邊 康典 医師 仲摩 和博 診療放射線技師

20年表彰

前田 育江 看護師 細迫かおる 看護師
宮田 夕 看護師

10年表彰

坂本 麻理 看護師 山本 洋江 看護師
田中菜々子 理学療法士 佐々木智也 理学療法士
佐藤 莉恵 薬剤師 橋本 貴弘 薬剤師
高橋 愛望 事務

5年表彰

岩本 美幸 看護師 山上 朝絢 看護師
棗田 未紗 看護師 岡本 咲子 保育士
亀田 恭典 臨床工学技士



永年勤続30年表彰を受けて

放射線科 仲摩 和博

5月12日に行われました、特定医療法人 財団竹政会創立記念式典におきまして、被表彰者を代表して謝辞を述べさせていただきました。

私が30年前の1996年にセントラル病院へ就職した頃、福山循環器病院はまだ住吉町にあり、セントラル病院は増改築の最中でした。当時、当院に初めてMRIが導入されました。一般撮影(レントゲン)やCT、血管造影などで撮影された画像はすべてフィルムにするため、暗室での現像作業が必須でした。それが技術の進歩により、今ではフィルムではなくモニター上で精細な画像を観察できるようになりました。

2019年にはセントラル病院が新築移転し、CTやMRIなどすべての撮影がより速く、より綺麗にと格段に進歩しました。しかし、そんな機械に頼りきった技術革新を嘲笑うかのように、2020年からはコロナ禍が訪れました。暗い情報だけが日本中にあふれかえり、苦しく、眠れない夜が続きました。そんな困難な時期を乗り越え、今の時代を築き上げることができたのは、皆様一人ひとりが心の奥底にある「希望」という名の光を見出したからに他なりません。

あの手塚治虫先生が夢として描き描いていた、鉄腕アトムの時代「2014年」は、とっくに過ぎ去りました。これからはロボットならぬ人工知能(AI)の恩恵を受けつつも、「人として」それぞれの幸せを描き続ける未来が、皆様に訪れることを心より願っております。

今回の永年勤続表彰は、これまでの過去を振り返るだけでなく、未来へと思いをはせる素晴らしい機会となりました。有難うございました。



セントラル病院オープンカンファレンスのご案内

日時：2026年10月29日(木) 19:00~20:00

場所：セントラル病院 4階健康管理科フロア

演題 「がんゲノム医療について」
～がん治療がどこに向かっているのかを簡単に解説します～

演者 川崎医科大学附属病院 臨床腫瘍科
教授 永坂 岳司 先生

QRコードからの
お申込みはこちら
締切：10月17日(土)



※お問い合わせは地域連携室までお願いします。
地域連携室 TEL：084-920-1472

病気のはなし

「脱腸」と似ている？骨盤臓器脱

—当院では、どちらの病気も診療しています—

泌尿器科医師 有地 直子

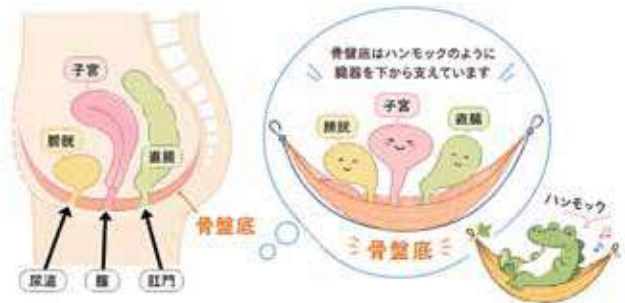
「脱腸」という言葉を聞いたことがある方は多いのではないのでしょうか。一般に脱腸と呼ばれる鼠径(そけい)ヘルニアは、特に男性に多く、おなかの壁の弱くなった部分から腸などが押し出され、足の付け根にふくらみが現れる病気です。立ったときや力を入れたときに目立ち、横になると引っ込むこともあります。

脱腸(鼠径ヘルニア)



成人の鼠径ヘルニアでは、弱くなった組織を縫い合わせるだけでは再発することがあるため、「メッシュ」と呼ばれる人工の網状素材で広く補強する手術が一般的です。当院外科でも、腹腔鏡を用いた鼠径ヘルニア手術を行っています。

一方、女性に起こる「骨盤臓器脱」にも、脱腸と少し似たところがあります。女性の骨盤内にある膀胱、子宮、直腸などは、骨盤底にある筋肉や靱帯、筋膜によって支えられています。出産や加齢などの影響で支える力が弱くなると、これらの臓器が腔(ちつ)の方向へ下がり、腔から出てくることがあります。これが骨盤臓器脱です。



骨盤臓器脱のイメージ



「腔から丸いものが出る」「股の間に何か挟まっている感じがする」といった症状が多く、尿が出にくい、尿が近い、便が出にくいなどの症状を伴うこともあります。

鼠径ヘルニアと骨盤臓器脱は、起こる場所は異なりますが、どちらも臓器を支える組織が弱くなることで起こります。また、代表的な手術では、メッシュを利用して弱くなった支持を補うという共通点があります。

骨盤臓器脱では、骨盤底筋体操やペッサリーによって症状を軽減する方法があります。根治を目指す場合は手術を検討し、メッシュを用いて弱くなった骨盤底を補強する方法があります。

当院では、鼠径ヘルニアは外科、骨盤臓器脱は女性泌尿器科で診療しています。気になるふくらみや違和感があれば、年齢のせいと我慢せずご相談ください。

「女性のための健康講座」を開催しました

看護部長 奥永 恵美

地域の皆さまの健康づくりを支える取り組みとして、当院の女性泌尿器科の有地直子医師による『女性のための健康講座：「おしっこトラブル・おしもの悩み」』を開催しました。野々浜交流館では約40名、老人大学では85名と多くの方にご参加いただきました。講座では、女性の加齢に伴う体の変化、尿漏れが起きる原因、日常生活で気づきやすい症状、治療の選択肢などについて分かりやすくお伝えしました。

終了後には、「実は気になる症状がある」「わかりやすい内容だった」といった声が寄せられ、女性特有のおしもの悩みが“自分事”として受け止められていることを感じました。おしもの悩みは、恥ずかしさから相談をためらう方が少なくありません。今回の健康講座が、気軽に相談できる医療の入り口としてお役に立てるのではないかと感じています。女性がいつまでも健康でイキイキと過ごせるように、これからも健康講座を継続していきたいと思います。



感染管理認定看護師な日々

感染管理特定認定看護師 恵谷 和郎

骨を折りました。



どこで手術するか悩んだ結果、セントラル病院を選びました。術後感染症の予防や麻酔や手術、術後の管理など安心できる病院が最高です。迷うことなくこの病院を選択しました。外来からは局所麻酔でイケる、病棟からは日帰りでも十分、手術室からはヨソでやれ、と暖かい応援メッセージを頂きました。ちなみに、私の所属は手術室です。温かい応援を頂いたので、全身麻酔でしっかり入院させていただきました。家族からは2週間帰ってくると言われてました。

患者にも患者として出来る事があります。手術の前日と当日にしっかり時間をかけて入浴し、予定手術部位を傷つけないようにやさしく洗いました。おっさんの皮脂は乙女の皮脂と比べて明らかに術後感染症の原因となりそうです。私には皮膚を優しく洗うという概念に覚えがありませんでしたが、この時ばかりはしっかり泡立ててゆっくりと洗ってあげました。

当日は過不足なく必要物品や書類を用意していたので、スムーズに入院・手術を行うことができました。術後経過に問題無く、5日間の入院で退院することができました。

この記事を書いているのは術後7週の頃ですが、合併症など無く職場復帰できています。安心できる周術期の管理を自ら体験することができました。

今後、骨を固定した金属を取り除く必要がありますが、セントラル病院で手術します！

日本透析医学会学術集会への参加

ME科 谷岡 優美

この度、日本透析医学会学術集会に参加させていただきました。この学会は透析関連の学会の中でも大規模で3日間開催されます。参加するのは、私のように臨床工学技士をはじめ、医師・看護師はもちろん栄養士や臨床検査技師など様々な分野から透析に関わる職種の方々が集まってきます。普段直接関わることのない他職種の方の意見を聞くことができ大変勉強になりました。

学会と聞くと講義ばかりで堅苦しい感じに思うかもしれませんが、メーカー展示というものがあまして、各メーカーが色々な製品を紹介しています。透析患者様に優しい飲料水や保湿剤だったり、私たちスタッフに便利な医療機器やグッズだったり、本当にいろんなものが展示されています。試供品をもらうこともでき、良さそうなら病院で購入を検討します。そういったものを見るのも透析医学会の醍醐味です。

この度、透析医学会学術集会に参加させていただき、得た知識や情報(そして持ち帰ったたくさんの試供品たち!)を透析室スタッフみんなで共有し、患者様により良い医療が提供できるよう努めていきたいと思っています。



MRI検査を受けられる方へ

「MRI室には金属を持ち込めません！」

これは、金属部分が熱くなるやけどの可能性があるのでという理由なのですが、手術で埋め込むボルト・ワイヤーなどは、(よほど昔の手術でなければ)MRI検査でも熱くならない安全な材質が使用されています。

これに対して絶対に持ち込みが禁止なのは『体内に電子機器(ペースメーカーのMRI対応でないもの、刺激装置、ポンプなど)が埋め込まれている』『人工内耳や水頭症シャントバルブの一部』等は正常な動作をしなくなり時には命にかかわることもあります。他にも補聴器は壊れますし、大切な磁気カードは磁気不良をおこし使用できなくなります。

あとは絶対ダメではないのですが、いわゆる“ヒートテック”のようなシャツは汗を熱に変えるという特性から過剰に熱くなりやすく、“リオイブシャツ”のような一部の健康シャツは鉱石を繊維に練りこんでいる構造上、そこから発生する電磁波が過剰に増幅され、熱さを感じる可能性があります。これらのシャツのように、たとえ普段の生活においては快適で健康に役立つものでも、病院の検査においては適切でないこともあります。検査前には更衣室・ロッカーなどで確認をさせていただきますので、安全・安心な医療の為に、どうぞご協力ください。

放射線科



リハビリテーション科 実習を終えて

川崎リハビリテーション学院 古賀 大敬

2か月間実習をさせていただきありがとうございました。

今回の実習では実際のリハビリテーションの場面・手術の見学・評価実技やカンファレンスなど様々な現場に参加させていただき大変貴重な経験を積むことができました。実際の医療現場は教科書通りではなく、同じ疾患でも患者様によって違う評価結果やアプローチに対する反応が現れることを目の当たりにしました。今まで習得した知識・技術を基にして自己判断を行いその場で臨機応変に対応することの重要さと難しさを学ばせていただきました。実習期間中は自身の知識・実力不足を痛感する日々でしたが、先生方が図やジェスチャーを交えて様々な知識や技術をとてども丁寧に教えていただきました。そして知識や技術が身につくにつれ、先生方の目的やアプローチ法など、見学する中で気づく場面や考える場面が増え、非常に充実して得るものが多い実習となりました。

最後になりますが、実習指導の先生をはじめ、リハビリテーション科の皆様、病院職員の皆様、そして患者様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

高校生「ふれあい看護体験」を開催しました!

透析室 高橋 美千絵

看護協会主催の「ふれあい看護体験」を実施し、看護師を目指す高校1～3年生の計7名の参加がありました。

病棟や手術室など看護師の働く部署の見学をはじめ、医療器具の操作や血管エコーなど、普段触れることの出来ない医療現場の体験に、参加した皆さんは目を輝かせていました。体験後のアンケートでは、「患者さんの笑顔が印象的だった」「認定・特定看護師や災害派遣など、スキルアップできる職業だと知った」といった声のほか、「スタッフ同士の雰囲気は温かく、こんな病院で働きたい!」「絶対に看護師になります!」という心強いメッセージも寄せられました。

未来の看護師たちを後押しする貴重な機会となり、私たちも初心を思い出し元気をもらうことができました。一緒に働ける日を楽しみにしています。





飛翔会だより

新入職員歓迎ボウリング大会

放射線科 仲摩 和博

五月の蒸し暑いあいにくの雨の中、恒例の新入職員歓迎ボウリング大会が行われました。久しぶりにボウリングを楽しむという人が大多数でしたが、シューズを履き替えたとたん皆さん真剣モードに…。

(ここからは実況アナウンサー風に早口で) オーットーツッ! 1861年長崎の出島に渡来した遊戯は、時を経て老若男女問わずに楽しめるスポーツへと華麗に進化し、古の狩猟本能と、秘めたる攻略心を満たすべく、己の限界を求めレーンには10本の



獲物(ピン)を狙う有象無象のハンター達が 集い互いにその技を競い合っているぞ! まさにワンダーランド! まさに! まさに「たぐいまれなるフィジカルギフトのたまものどもが夢の跡」だーっ! (実況は以上です)

普段なかなか顔を合わせない他部署の方々と交流をはかれる良い機会でした、協力する楽しさを再確認する大変有意義なひとときだったと思います。

納涼会

飛翔会 坂根 潤

7月22日、飛翔会主催の夏の行事として「納涼会」を開催いたしました。各部署から計44名の参加がありました。

今回は「元町ホール」を完全貸し切りにし、落ち着いた雰囲気の中で行いました。メニューはコース料理で、味も量も大満足の内容でした。当日はあちらこちらで話が弾み、日々の病院業務から離れて良い気分転換に。部署の垣根を越えて広く交流ができる、充実した2時間となりました。

飛翔会では、秋の行事として「院内旅行」を予定しております。10月には一泊二日で鹿児島へ、11月には日帰りです島根と姫路の2コースを計画しています。職員同士の交流をさらに深めながら、みんなで楽しめる旅行にしていきたいと思います。



わくわく夏まつり

わくわく託児所 保育士 河妻 志穂

まだまだ暑さが残る8月末、「わくわく託児所」の夏まつりが開催されました。今年は、普段登所している子どもたちだけでなく、臨時で利用されている子どもたちの参加もあり、とても賑やかな夏まつりになりました。いつも過ごしているお部屋が縁日のようにカラフルに飾られているのをキラキラした目で見つめる子どもたちの表情に思わず笑みがこぼれます。

おなじみのヨーヨー釣りやお面屋さんのほかに、マリオカートやバナナとばしゲームなど、子どもだけでなく大人も夢中になるコーナーが勢揃い! 額に汗を滲ませながらダイナミックにバナナを飛ばす子どもたちの姿には、ミニオンたちもびっくりです! 今回の夏まつりでは、退所してそれぞれの場所で頑張っているお友だちとの、感動の再会を果たす場面もありました。少しはにかみながらも、一緒にゲームをしたり、フォトスポットで同じポーズをして笑い合ったりする姿に、子どもたちの成長を感じました。

また、普段はなかなか顔を合わせる機会の少ない保護者の皆さまにとっても、交流を深めていただける良い機会となったことを嬉しく思います。夏の終わりに、ステキな思い出がまたひとつ増えました♪



家族で楽しむ車中泊の旅

健康管理科 末國 真理

我が家では、ここ数年「車中泊の旅」がブームです。

きっかけは、数年前のコロナ禍のお盆休みでした。旅行に行くにも気が引ける状況の中、夫が「車で富士山を見に行ってみよう！」と言った一言から始まりました。

数日分の着替えと洗面道具、たくさんのお菓子や飲み物を車に積み込み、向かう方向だけ決めて出発！道中では長編アニメを流し、お腹がすけばサービスエリアや道の駅に立ち寄ってご当地グルメを堪能します。疲れたら休憩し、各地の入浴施設で汗を流す、そんな行き当たりばったりの気まぐれ旅です。

寄り道を楽しみながらたどり着いた富士山は、とても美しく、澄んだ空気も格別でした。写真を撮たくさん撮り、富士山をぐるっと一周して帰路へ。移動時間の長い旅でしたが、不思議と退屈することはありませんでした。

それ以来、連休になると最終目的地だけを決めて家族で出かけています。前日になって「関東にする？九州にする？」と行き先を決めることもあるほどです。

まだ訪れたことのない県がたくさんあります。これからも家族で時間を合わせながら、全国各地を少しずつ巡っていきたいと思っています。



地域医療 連携室だより

〈看護師〉

小寺 美子・前田 育江・楠本 幸枝・牧野 芳子

〈社会福祉士〉

大塚 千絵（小寺 美子）

地域連携室 大塚 千絵

日中はまだ暑さが残るものの、朝夕は秋らしい風を感じる季節となりました。9月23日の「秋分の日」は、昼と夜の長さがほぼ等しくなる季節とされ、自然の恵みに感謝し、命あるもの全てを大切にすることを育む日として定められています。秋の始まりには鈴虫の音色に耳を傾けながら、季節の移ろいを感じるのも、この時期ならではの楽しみです。

秋は「実りの季節」ともいわれます。食欲の秋・芸術の秋・スポーツの秋などそれぞれの楽しみ方があると思います。私は学生時代から美術に親しんできたこともあり、この秋は美術館やギャラリーを訪れ、さまざまな作品に触れたいと思っています。子どもが小さい頃はゆっくり鑑賞することが難しかったのですが、最近是一緒に美術館を訪れる機会も増え、成長を感じるひとときにもなっています。

日々の忙しさから少し離れ、芸術や自然にふれながら、心豊かな時間を過ごしてみたいでしょうか。季節の変わり目ですので、体調に気を付けながら、実り多い秋をお過ごしください。

熊本地震の被災地にお見舞いを申し上げます

2026年7月28日の熊本地方を震源とする地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

被災された皆様が今なおご不安な日々を余儀なくされていることに、当院職員一同、深く胸を痛めております。ささやかではございますが、当院としても義援金を通じて復興の一助となるよう微力を尽くしてまいります。

また、酷暑が続く中、現地で救助や復旧活動にご尽力されている関係者の皆様に深く敬意を表します。被災地の皆様の健康と安全を心よりお祈り申し上げますとともに、一日も早い日常の回復を願っております。

セントラル病院 病院長・職員一同

編集後記



今年の夏も厳しい暑さが続き、熱中症警戒アラートが発表される日も多くありました。暑さはまだしばらく続きそうですが、朝夕には秋の訪れを感じる場面も増えてきました。季節の変わり目は体調を崩しやすい時期です。旬の食材でしっかり栄養をとり、適度な運動や十分な休養を心掛け、実りの秋を元気に迎えましょう。

広報委員 検査科 五島 穂香

セントラル病院の基本姿勢

C:Center	地域医療の中枢
E:Emergency	的確な救急医療
N:Network	院内外の連携体制
T:Technique	高度な医療技術
R:Research	旺盛な研究心
A:Activity	あふれる活気
L:Love	深い愛情
H:Hospitality	快適な医療環境
P:Partnership	良好なパートナーシップ

発行 特定医療法人 財団竹政会
セントラル病院
発行責任者 院長 高橋 健治

〈セントラル病院診療日程表〉

2026年9月現在

		月	火	水	木	金	土
整形外科	午 前	竹政	竹政	竹政	竹政	竹政	担当医
	午 後	竹政(16時～) スポーツ外来のみ	手術 川大整形(15時～)	—	手術 川大整形(15時～)	—	—
外科	午 前	湯浅	高橋	湯浅	高橋	高橋	担当医
	午 後	手術	—	手術	岩本(乳腺甲状腺)	—	—
内科	午 前	太田(9時30分～)	徳毛	太田(9時30分～)	—	太田(9時30分～)	—
		北村(第1・3・5週) 松本(第2・4週)	岡本	松本	北村	松本	濱田(第1・3・5週) 松本(第2・4週)
		岡本	渡辺	渡辺	—	渡辺	渡辺
	午 後	北村	松本	北村	徳毛	岡本	—
		—	—	徳毛	渡辺	—	—
泌尿器科 女性科	午 後	—	有地 (第2・3・4週の 14時～16時30分)	—	—	有地 (15時～17時)	—
透 析	午 前	有地	有地	有地	有地	有地	有地
	午 後	有地	—	有地(第1・3・5週) 担当医(第2・4週)	—	有地	—
ドック	午 前	浜井	浜井	浜井	太田	浜井	担当医
検 査	胃カメラ	中村／高橋	松本／川大	井上／北村	河野／松本	岡本／北村	担当医
	大腸カメラ	松本	北村	岡本	河野	北村	—

整形外科

竹政 敏彦
(スポーツ外来:月 16時～)
後藤 峰範
(川崎医科大学整形外科)
古市 州郎
菊岡 亮介

外 科

高橋 健治(消化器外科)
湯浅 吉夫(総合診療外科)
岩本 高行(乳腺内分泌外科)

泌尿器科

有地 直子

内 科

渡辺 康典(呼吸器内科) 太田 浩子(内科)
岡本 康(消化器内科) 徳毛 健治(内科)
北村 悟(消化器内科) 井上 和彦(消化器内科)
松本 栄治(消化器内科) 濱田 礼子(内科)
浜井 千香(内科)

健康管理科より

当院では『地域の方々を健康に』を目標に、各種人間ドック・健診をおこなっています。

お気軽にお問合せ下さい。 人間ドック専用TEL:084-924-8041 医師 浜井 千香 / 太田 浩子

注意事項

※火曜日・木曜日の午後の整形外科診療は手術終了後に担当医が行っております。
※緊急時、ご紹介の場合は電話でお問い合わせください。

受付時間 午 前: 8:30～12:00 診察時間 午 前: 9:00～12:30
午 後: 13:30～17:00 午 後: 14:00～17:30
※土曜日は12:00までの受付です。

〒720-0809 広島県福山市住吉町1-26
代表TEL: 084-924-4141 地域医療連携室TEL:084-920-1472
代表FAX: 084-924-8040 FAX:084-920-9278

公式
ホームページ



Instagram
公式
Instagram



広報かけはし
バックナンバー
QRコード

